

小3・中3－1生活単元学習 学習指導案

日時 令和4年11月29日(火) 9:55～12:10

場所 CR6

CT:林AT中村 重利

埋蔵文化財センター職員

「心に残る文化財子ども塾」～古代の土器作りを体験しよう～

ねらい(共通)

- ・自分たちの住む身近な地域の遺跡を知り、古代の人々の生活に興味・関心をもつ。
- ・土器作りの体験を通して、古代の人々の生活やものづくりを知る。

時間	学習内容	○生徒の活動 ◎教員の支援	準備物
5分	号令	○日直が号令をかける。 ◎児童・生徒の姿勢等が整っているかを確認して号令をかけるよう伝える。	
	講師の紹介と自己紹介	○講師の方にあいさつし、自己紹介をする ◎必要に応じて支援をする。	
	本時の学習の流れを確認する ・学習内容、ねらいの説明	○活動内容の説明を聞き、活動に見通しをもつ。	
15分	<u>縄文、弥生時代の人々の生活</u> ・自分たちの住む地域にどれ位の遺跡があるのか知る ・遺跡がどれ位昔のものなのか知る	◎視覚的教材(パワーポイント、写真等)や実物を提示することで、児童生徒の興味関心を高めることができるようにする。	
10分	<u>休憩</u>		
60分	<u>土器作り体験</u> ① 土器について知る ② 土器の作り方の説明を聞く ③ 土器作り ④ 片付け	◎土器がどのように使われたのかを考え、古代の人々の生活の様子を想像することで児童生徒の興味関心を高めることができるようにする。 ◎必要に応じて言葉かけをしたり、身体支援をしたりする。 ◎片付けが進んでできるよう、言葉かけをしたり促したりする。	
	<u>まとめ</u> ・学習を振り返り、感想を書く ・感想を発表する	◎体験を通して感じたことが表現できるよう、必要に応じて言葉かけをする。 ◎何を書いてよいか分からない時は、選択肢を提示したり、頑張っていたことを伝えたりする。	
	号令	○日直が号令をかける。 ◎児童・生徒の姿勢等が整っているかを確認して号令をかけるよう伝える。	

準備するもの

(学校) 延長コード、新聞紙、軍手

(埋蔵文化財センター) 粘土、土器見本、施文具、出土遺物